平成 22 年度　事務事業事後評価調書（平成　21　年度事業）

整理番号	7 － 4

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	統合保育所建設事業					
評価者	担当課名		保育所	担当係名		児童保育係
	管理職	職名	所長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路至尊		氏名	大水麻理
事業の概要	いずれの保育所も老朽化が進み、良い保育環境の妨げとなっており、改善が急務となっている。また、入所児童数も出生率とともに減少しており、運営の効率化が求められ、分散した保育所の統合を図り、併せて子育て支援に対応すべく、幼稚園機能を兼ね備えた認定子ども園をはじめとする各種機能拡充を図る。					

全体計画（平成 20 年度～ 21 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	309,600 千円
	その他	83,000 千円
	一般財源	5,112 千円
	事業費計	397,712 千円

実施方法	■ 直営	□ 民間委託	□ その他（　　）
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度 A

事業の位置付け			
政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
基本施策	8	子育ち・子育ての充実	
単位施策	2	「子育て」支援の強化	
事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務	
その他計画・根拠等			

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	10,200 千円	293,800 千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	83,084 千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	6,075 千円	24 千円	千円	千円	千円
合計	16,275 千円	376,908 千円	千円	千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	保育所入所児童、子育て支援センター利用者	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化及び児童数の減少など、施設及び体制の改善が急務。	新たに建設する保育施設数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	衛生的にも環境的にも優れた施設と、受入れ環境の充実。また、これに併せてメニューの拡充を図り利用者の利便性を図る。	① 新たに建設する施設数	目標年度	平成21年度
			目標値	1 施設
			実績値	1 施設
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	より良い保育環境の整備。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
建築・外構工事、備品購入	建物、外構、給排水、電気等工事及び備品購入について業者に発注し施工、納品を完了した。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	町が子どもの育成を全面的に支援するためには、町営での保育運営が理想であり、この環境整備を進めるためには施設の建設が必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	計画どおり建物建設工事、備品購入を完了し、保育環境の向上に結びつけることができた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	入札により適正価格をもって事業推進を図ることができた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町内に住む全ての乳幼児に公平に利用してもらうための施設が完成し、今後においても公平性が担保できる。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画どおり事業が進み、次年度へのよりよい保育環境の向上につなげることができた。		

今後の展開方向
（Action）

終了		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）